

フットサル部

スピード感と迫力あふれる 室内サッカー

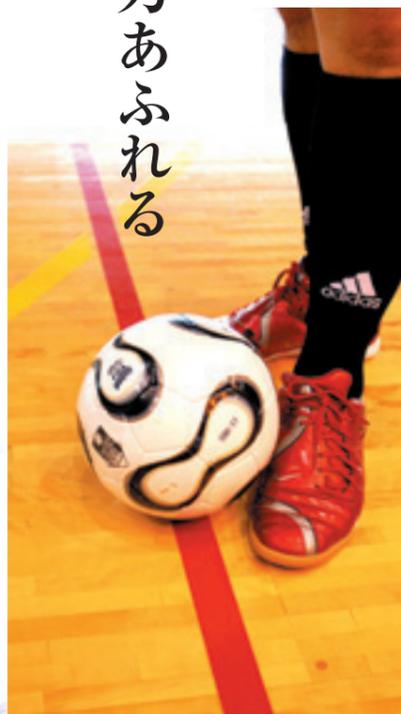


キャプテン
工学部機械工学科2年
甲斐田 朋志
かいたともし

徳大のフットサル部には「シュート」を意味する「TIRARE(ティラーレ)」というチーム名があります。部員数は女子も含めて15名ですが、女子は人数が少なく、今のところチームはありません。

甲斐田さんは昨年7月にキャプテンになりました。現在、高校ではフットサル部が少なく、甲斐田さんをはじめほとんどの部員が大学に入って始めています。ポジションはフィクン(ディフェンダー)ですが、攻撃にも積極的に参加します。

部員の中で唯一、元木伸さん(工学部光応用工学科1年)は般のチーム「スカイ」のクラブ生として中学時代から始めた有力選手の一人です。現在不在のキーパーを兼任している



村上健さん(工学部電気電子科2年)はパーワーがあり、キーパーでありながら攻撃にも参加して点が取れるマルチプレイヤーです。

フットサル(Futsal)は室内で行われるサッカーと似た競技です。1989年には国際サッカー連盟(FIFA)がフットサルも管轄することになり、世界共通のルールができました。

フットサルの名前は、サッカー(外国ではほとんどがフットボールと言ふ)と室内を表すサロンの合成語です。

フットサルの起源には「つあり、南米を中心に発展してきたサロフットボールと、サッカーの母国イギリスより発祥したインドアサッカーです。

こうして各国で親しまれるようになった室内のミニサッカーをFIFAがまとめて、名称も公式にフットサルとし現在の形になりました。

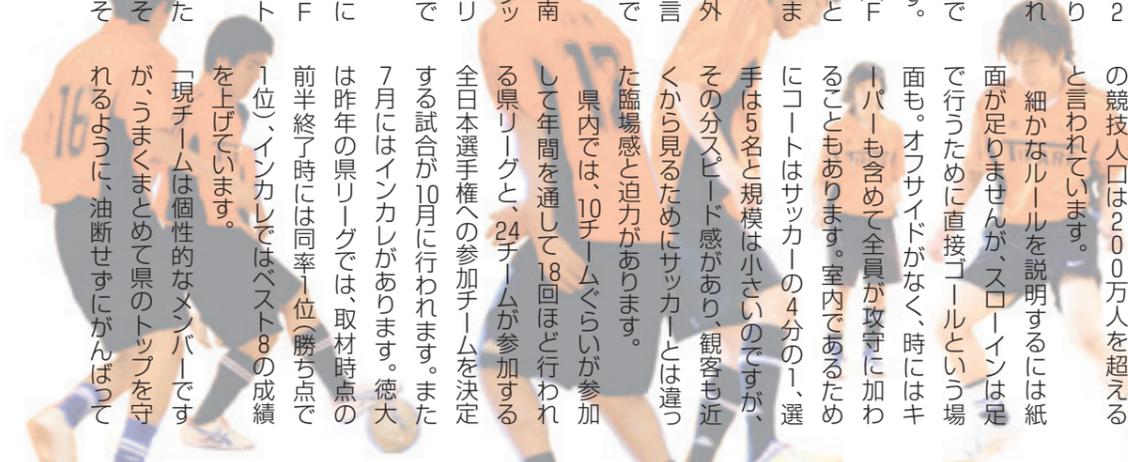
日本では1970年代に東日したブラジルのサッカー選手が伝えたそうです。現在では女性も含めて、そ

の競技人口は200万人を超えると言われています。

細かなルールを説明するには紙面が足りませんが、スローインは足で行うために直接ゴールという場面も。オフサイドがなく、時にはキーパーも含めて全員が攻守に加わることもあります。室内であるためにコートはサッカーの4分の1、選手は5名と規模は小さいのですが、その分スピード感があり、観客も近くから見るためにサッカーとは違った臨場感と迫力があります。

県内では、10チームぐらいが参加して年間を通して18回ほど行われる県リーグと、24チームが参加する全日本選手権への参加チームを決定する試合が10月に行われます。また7月にはインカレがあります。徳大は昨年の県リーグでは、取材時点の前半終了時には同率1位(勝ち点で1位)、インカレではベスト8の成績を上げています。

「現チームは個性的なメンバーですが、うまくまとめて県のトップを守れるように、油断せずがんばって



「いきいだいせ」

と抱負を語る甲斐田キャプテン。

みなさんも誰でも気軽に始められるミニサッカー、フットサルのおも

ヘルステータ

徳島大学の学生のみならず、健康診断や予防接種でおなじみの保健管理センターに、心の相談室があるのをご存じですか？私は、この10月から、保健管理センターに赴任し、心の相談室での診療に携わっている医師です。心の相談室では相談をつけたり、治療を行ったり、適切な治療のための施設を紹介したりしています。

大学生活って、いろんなことがありますよね。学業では専門的学問を身につけたり、研究をしたり、もちろん講義や試験もありますし、サークル活動やボランティア活動をするのもできるし、アルバイトでお金を稼いだり社会経験をしたりもできる。生活面では一人暮らしをしたり、友人たちと遊んだり交流したり。これまでの生活と比べるととても自由で可能性に満ちていますね。でも、それをうまく成り立たせるために、例えば一人暮らしだと、お金のやりくりや食生活をはじめとする健康管理も大切だし、やりたいことややるべきと思うことがいっぱいあっても全部をやれるわけではないし、学業ひとつとっても、学問的には高校までのものと比べたら、ずっと難しいし奥が深いし幅広い。友達や先輩との付き合いもこれまでとは違う気もする。何より、自由な分、自分が何かしなければ

こころの相談室を知っていますか？

保健管理センター
井崎ゆみ子
いざき ゆみこ



ます。H.エリクソンという人は発達心理学の立場から、人のこころや精神は生発達をしていくものであり、青年期にはアイデンティティ(自我同一性)を確立することがテーマだとい

ました。自分ってなんだろう、自分が

は何も起らない感じって、逆にとまどうともありますね。

自分らしさって何？

らしさってなんだろうとの問いかけが深まってくるのです。自分の内面と向きあいながら、生活し行動していく中で、自分を確立し社会参加へ向かっていくのです。

自分ってなんだろうと模索することとは、自分の内面には簡単に入り込まれたくない...という気持ちにつながります。この時期、むやみに親に

ほかのみんなはどうなんだろう？

平成17年の徳島大学学生生活実態調査報告書によると、健康面で何らかの気になる症状があると答えた人が男子で36%、女子で41%、現在の精神状態については、充実していると答えた人は30%、残りの約70%の人は、「何となく不安」、「落ち込みやすい」、「やる気が出ない」、「いろいろする」などがあると回答しています。多くの人がなんらかの心身の不調感をもっているということです。

悩みや不安の内容については、勉強が最も多く、就職や進路、経済状態、交友、異性関係、生きがいや目標、自分の性格、身体的不調、サークル活動、家族関係と続いています。悩み事を

誰に相談するかという質問には、友人(約50%)、家族(約25%)が多く、教員、学生相談室、学務係とした学生が合計3%弱、誰にも相談しない人が16%となっています。

悩みといっても、比較的すぐに解決するもの、時間がたてば解決するもの、解決を焦らない方がよいもの、さまざまあると思います。解決の方法の一つとして、自分がじっくり考えることは大切なのですが、簡単に結論が出ない方が多いですよ？長期問自分一人を抱え込むことによって、こころが苦しくなってくる。調子を崩しやすくなります。だれかに相談することで、問題そのものが解決することはわりではないですが、一人で抱えている孤独感や苦しさがやわらいだり、話すことによって、悩みを抱えた自分を違う視点でみることができるようになります。悩みや不調でいきつまったときは、身近なだれかにまず相談してください。そして、バランスが崩れているなら、不調だな、自分って大丈夫かな、こころの病気の症状なのかな...などの心配や不安があれば、気軽に保健管理センターを訪ねてください。